

泉のほとり

・待降節第三主日

今日の詩編「第四十六編」

力を捨てよ、知れ

わたしは神。

国々にあがめられ、

この地であがめられる。



必ず実現する

イスラエルの民の罪のために、祭司ザカリヤは神殿の聖所に入りました。誰もいないはずの場所に、一人、祭壇の右側に立つものがいました。神の天使でした。恐れているザカリヤに天使は「恐れるな。ザカリヤ、あなたの願いは聞き入れられた。あなたの妻エリサベトは男の子を産む。その子をヨハネと名付けなさい。その子はあなたにとって喜びと、楽しみとなる」と告げられました。更に、イスラエルの多くの子らを「主」のもとに立ち返らせる、とも告げられたのです。

ザカリヤは天使に言いました。「何によって、わたしはそれを知ることができるのでしょうか。わたしは老人ですし、妻も年をとっています」と。天使は「私はガブリエル、神の前に立つ者。あなたに話しかけて、この喜びの知らせを伝えるために遣わされたのである。あなたは口が利けなくなり、この事の起こる日まで話すことができなくなる。時が来れば実現するわたしの言葉を信じなかつたから」と答えました。その時からザカリヤはものが言えなくなり、「ヨハネ」が生まれる時まで、神さまがわざわざ天使を遣わし「男の子を産む」と、しかも天で決められた「ヨハネ」という名前まで告げたのでした。しかしそれに「老人である私にどうしてそのようなことが起こるでしょうか」とザカリヤは応答したのです。

彼は、神さまがエリサベトに「子を宿して」くださるのを見、口を開くことのできないまま毎日エリサベトの体の中で「子が成長」して大きくなるのを見、そうして「子が生まれる」のを見るのです。およそ十ヶ月の間、その一つ一つの神さまのなさる業を「黙つて」見ていたのです。見せられていたのです。その間、彼は「男の子を産む」と言われたあの時、「老人である私にどうして」と疑った自分はな

んと愚かな唇を開いて喋ったのだろうか、と思つたと想像します。人の言葉は、言つて行わなかつたり、言つても実現しなかつたり、またあらゆる意味のない空しい言葉を口にします。神のことばは何一つ地に落ちることはなく、すべてが「必ず」実現する、神にできないことは何一つない。その真理が彼の心に信仰として、このとき刻まれたのではないかと思ひます。何より、もはや神のことばに自分の軽い唇を開かず、どんなことばでも恐れかしこみながら「はい」と受け止める「信仰」に変えられたのだと思ひます。

ヨハネは天使のお告げどおり生まれます。それのみならず、ヨハネの誕生の知らせはかつて預言者たちを通して「荒野で叫ぶ者の声がする」と告げられたその神のことばまでもが実現することでした。更に、人を罪から救うキリストの働きがいよいよ始まるうとしている、その神のことばの実現でもあったのです。時を超え、人知を超えて、神のことばは必ず実現します。ヨハネの誕生には、計り知れない神のご支配に無知な唇を閉じ、黙ることが知恵であることを思わされます。

幼子としてキリストが来られたクリスマス。やがて人々は、人の罪はその幼子を十字架につけてしまひます。それは人の罪、人の闇を明らかにする神の業、また人を罪から救うための神の業です。

老人に子供が生まれること。人を罪から救うこと。どちらも難しいでしょうか。しかし、神にできないことは何一つありません。人を罪からも救うことがおできになります。神は人を罪からも「完全に」解放し、完全な自由を生きるようにもおできになるお方です。その真理が心に信仰となつている人は幸いです。生まれてくださったキリストはそのしるし、神のことばです。ヨハネの誕生はその福音を指し示す神のことばの実現だったのでした。

霊的な体操

あなた自身を敬虔へと修練しなさい。

(第一、テモテ四・七、J・ロルフ訳)

喜んで、わたしも敬虔でありたいと思います。
しかし、敬虔であるということ

わたし自身にも、

また他の人びとも知覚するこの敬虔は
わたしの気に入りません。

聖なる神よ、

わたしはそのわけを

悟らなければなりません。

この敬虔ということが、

何よりもあなたのお気に召さぬことを。

わたし共を、怠惰で生ぬるいままに

放っておかないでください。

祈ることにおいて。

そうではなくて、

わたし共がまだそうなっていないものに

成らせてください。

修練しなさいとパウロが言うとき、彼は、まさにその誓みが熱意と努力を要することを示している。神を怖れることなくして、他のどんなことに対する熱意もすべて無駄である。神を怖れるとは、この脈絡では、良心に責められることなく、霊において神を真に讃えることの謂である。(カルヴァン)

R・ポーレン著 「祈る」より

今日のお知らせ

○今日はアドベントの第三主日です。説教壇のろうそくに三本火が灯りました。

○第一礼拝で教会学校の二学期終業式を行います。精勤生徒の表彰をします。

○第一礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコーヒーマーケット、国会二階リズム室では、「ぶどうの会」が開かれます。どうぞご参加ください。

○第二礼拝後、ホールで讃美と報告の会をします。お昼はお弁当です。

○午後二時から定例の役員会をカナルームで行います。役員はお集まりください。冒頭で試問会を行います。受洗希望者と教友も一緒に集まってください。

○来週二三日はクリスマス礼拝です。朝一〇時から一回礼拝です。

○一二月二四日(月)午後四時半と六時半の二回、クリスマスイブ礼拝を行います。今年にはシャルパインイエの「クリスマス真夜ミサ曲」による音楽礼拝です。

○吉村牧師は二〇日(木)一二時半から明治学院大 学白金校舎で行われる礼拝で奉仕します。

○紫陽香音楽伝道師は、本日は那須キリスト教会で、二二日(土)はアガペションチャペルで、クリスマスコンサートの本仕をします。お祈りください。

ラバウル便り

九月二十五日オイスカラバウル研修センターにて開催された日本とバプアニューギニア東ニューブリテン州(以下E.N.B.)の和解除式は主の祝福の内に終える事が出来ました。品川境界の皆様のお祈りを深く感謝申し上げます。戦後七十三年という長い年月が経ちましたが、第二次世界大戦において日本と連合軍の戦場になった東ニューブリテン州の人々にとっては複雑な心境にありました。戦争で不明になった家族を持つ方々、日本人の携間に掛かって亡くなった人の家族、毒殺されたカトリック教会の宣教師の神父と教員、日本軍の勤勉さと誠実さに触れ、知識と様々な技術を持った日本人と共に働いた村人達など。E.N.B.の人達の九十九% (推定) は日本人に対して良い感情を持っていました。しかし、この日本との和解除の話が出てから、心の奥にあった負の感情が湧き上がってきた、日本人として聞きたくない話を私は沢山聞かされてきました。特にカトリック教会では宣教師を殺した犯人を明らかにして下さい、と主に祈り続けているという話も新たに聞かされました。

超教派の指導者で組織された和解除準備委員会のメンバーの一人として私も奉仕をしました。バプアニューギニア(P.N.G.)に来て二十五年という節目の年でもありましたし、アブラハムの召命に自分を重ね合わせて考えたこともありました。

ひとつは信仰者の主のみ言葉に対する姿勢

は「はい！」という応答をすることへアプライ人四・七。一度この和解除は予算なし、P.N.G. 独立記念日(九月十六)で多忙の時期であることを理由に二〇一九年に延期するという決議を準備委員会でしたが、再度話し合いの結果この和解除は「神様のもの」。そして神様が「この時和解除をE.N.B.でやりなさい。ただこのみ言葉を信じて受け入れた時、予算が皆無であること、多忙である事は問題ではなくになりました。神様が必要なものを全て備えて下さるのです。もうひとつは「国を超えた」キリストの体としての教会があるという礎。キリスト者の和解除は主が十字架の上で既に神様と私たちの和解除を成し遂げて下さった。その事実の上に立つてなされる信仰者の行い。政治上の日本国の代表者である駐P.N.G. 大使のご臨在は叶いませんでしたが、天の父と主イエスと聖霊の聖名によってなされた和解除は天国において認められた権威あるものであったことも理解させて頂きました。日本とE.N.B. 州との新しい関係がこの和解除を通して構築されました。

主の聖名を讃え感謝をします。一昨日マーケットの路上伝道者のメッセージに、P.N.G. から海外に主イエスの福音が述べ伝えられる。その宣言が語られました。主の聖名を賛美します。

生原美知勝

聖書の会

● 朝の聖書の会

● 聖書の夕べ

今学期は終了しました。

次回は、2019年1月9日(水)です。

次週礼拝

● クリスマス礼拝(午前10時)

讃美歌 106番 112番

説教 平和の王の誕生

聖書 イザヤ11章1-10節

説教者 吉村和雄 牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 主を待ち望むアドベント
97番
説教 「不思議な神の選び」
聖書 ルカ1章26節～38節(新約P100)
司式 山下 純一 兄
説教者・聖餐司式 古村和雄 牧師

前奏曲「グリーンスリーブス」R.R.バーリー

○主を待ち望むアドベント

- 1.主をまちのぞむアドベント
さいしょのろうそくともそう
主が道をそなえられた この時を守ろう
主のたまよ よろこべ 主はちかい
- 2.主をまちのぞむアドベント
だい2のろうそくともそう
主がなされたそのように たがいにたすけよう
主のたまよ よろこべ 主はちかい
- 3.主をまちのぞむアドベント
だい3のろうそくともそう
主のめぐみ てりかがやき くらやみをてらす
しゅのたまよ よろこべ 主はちかい
- 4.主をまちのぞむアドベント
さいごのろうそくともそう
主はこのよに きたりたもう 心こめうたおう
主のたまよ よろこべ 主はちかい アーメン

○サクソフォンによる讃美
「あさひはのぼりて」

○讃美歌97番

- 1.朝日は昇りて 世を照らせり
暗きにすむ人 きたりあおげ
知恵に富みたる主 直にいでたり
愚かなる人は きたりまなべ
- 2.方のみつる主 世にのぞめり
かよわき人々 きたりたのめ
安きを賜う主 世にくだれり
苦しめる人は 来たり受けよ



第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 96番 270番
詩篇 第46編(旧約P880)
説教 「賢く、素直に」
聖書 マタイ10章16節～23節(新約P18)
司式 山下 純一 兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師
説教者 黄 允湜 副牧師

前奏曲「わが魂主をあがむ」J.S.バッハ

○讃美歌 96番

○サクソフォンによる讃美
「あさひはのぼりて」

○聖歌隊による讃美

「とうとし降誕」 T.ガイ外野
たえにとうとし うまれましぬ み子イエス
かいばおけに かいばおけに 眠れる みどりご
世のあがない主 世のあがない主
幸なるかな み子イエスを おがむは
神のみ子 イエスを
ハレルヤ

○讃美歌 270番

聖餐曲「ノエル」A.ギルマン

後奏曲「甘き喜びのうちに」 J.S.バッハ

- 3.救いを賜う主 世に生まれぬ
高きも低きも きたりいわえ
天地しらす主 よにあらわる
よろずの者みな どよみうたえ アーメン

聖餐曲「The Holy Boy」J.7(7)ド

後奏曲「甘き喜びのうちに」 J.S.バッハ